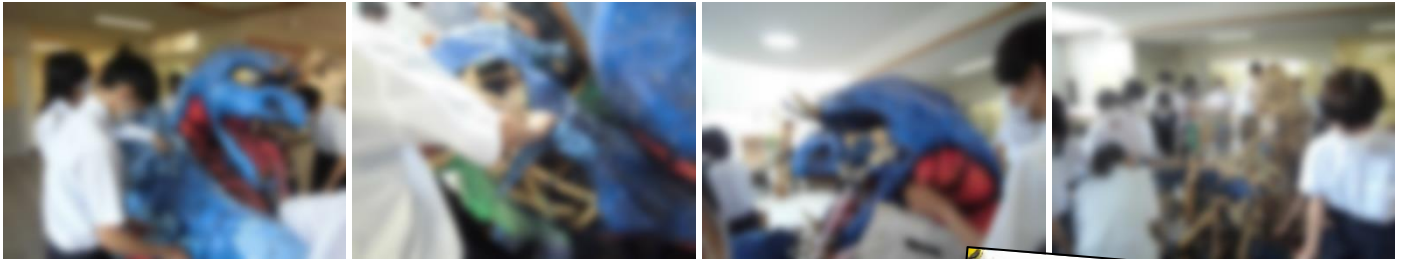


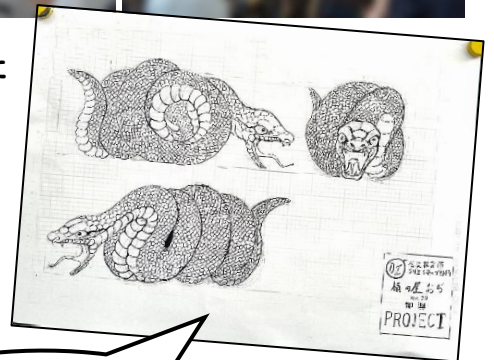
『牧の野の大蛇』 はりこの御輿点睛



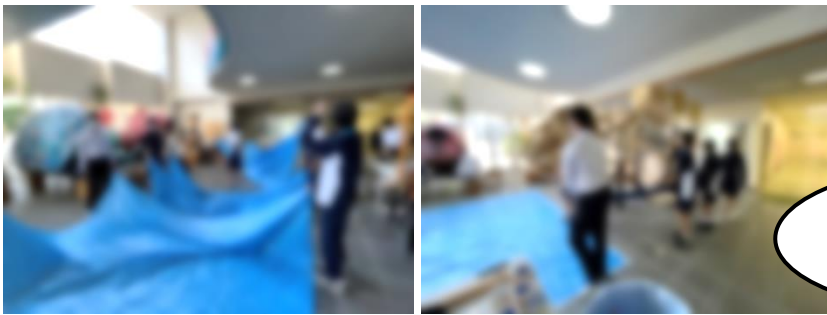
10月16日(月)に、はりこの御輿の点睛式が行われました。南二中では、毎年2学年から「伝説探究部」を募り、はりこの御輿を制作する伝統があります。「大緋鯉」「大亀」「大蛇」の中から順番に毎年1体制作することになっており、9回目である今年度は「大蛇」でした。まずは学年から新しい大蛇のデザインを募集し、それをもとに制作すべく、7月に先代の大蛇の解体を行ないました。



それから2学期に入り、新たなデザインをもとに制作が始まりました。制作には、NPO法人の海老江さんと妖怪造形家の天野さんにご協力いただき、24名の伝説探究部の生徒を中心に進めていきました。



今年度のデザインはこちら！！



骨組みは段ボールと竹できています。海老江さんと天野さんの指示の下、蛇の大まかな形作りをしました。

表面は新聞紙と小さく切った黒いラシヤ紙を貼っています、肉付けをしています。

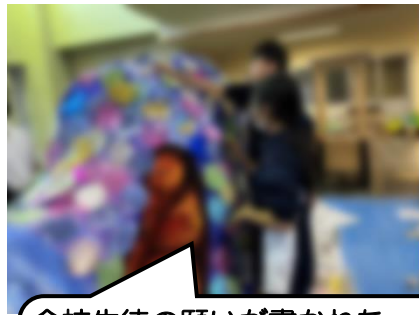




ラシヤ紙を貼ったり、青い絵の具で全体を塗っていきます。



点晴式で被るお面制作



全校生徒の願いが書かれた、キラキラの紙を貼っていきます。



完成！！ そして点晴式へ

ついに大蛇が完成しました。伝説探究部の生徒たちによって担がれた御輿は校庭へ運ばれ、晴天の下、点晴式が始まりました。



2年生全員で道を作り、校庭を一周しました。そして隅田川から汲んできた水で溶いた墨を使い、伝説探究部の生徒全員で一筆ずつ蛇に黒目を入れました。毎日夕方遅くまで学校に残り、御輿の制作に携わってきた伝説探究部の皆さん、本当にお疲れ様でした。皆さんが頑張ってくれたおかげで、今年もこうして新たな御輿に命が吹き込まれました。最高の大蛇をありがとうございました！！



伝説探究部 部員の皆さん

部長：〇〇〇〇さん 副部長：〇〇〇〇さん